

## 施設建物の整備について各委員からいただいた意見一覧

6月に開催した各部会の会議において各委員から次のとおり助言等をいただきました。

いただいた助言等は、今年度、設計会社に委託して実施している施設整備基本構想の内容検討や基本設計を行う際の参考とさせていただきます。

### 1 現在の専門校施設の全体の印象・感想

#### (1) 自動車車体整備科部会

1	実習棟内が暗い（照明不足）
2	整理及び清掃は良くできており、施設管理は良好のようです。ただし、照明が古く、全体の明るさが暗めを感じるのが残念でした。若い人が多いとはいえ、照度管理を再度検討しては。
3	私が、今回初めて施設を訪問させて頂いたからかもしれませんが、来客用の駐車場が少し分かりにくく、どこに駐車してよいか迷いました。 簡単な案内板等の表示があれば助かります。
4	電子化が進化している車業界では、湿気・ほこりが外敵であり、専門校は施設の老朽化に伴い、空調設備等の対応が今後必要。 また、整備士の健康面などを含め冷暖房が不可欠。

#### (2) 電気配管システム科部会

1	教室の机の横に荷物を置いてありましたが、ロッカーが必要では。
2	施設の老朽化があり十分な訓練をするには設備の充実を考える必要があると思いました。
3	全体的に照明が暗い印象が持たれた。 衛生関係はあまり見なかったが、現状はどうなのかなと思います。 道路からの入口に学校名等の看板があっても良いかと感じた。

#### (3) 総合建築科部会

1	建築科以外の実習棟の見学は行えなかったため、見学が行えた施設についての第一印象は、寄宿舍の老朽化・居室・設備内容である。 現代の生徒にとって快適とは云えない。 陰湿な印象の居室を改善し、憩いの空間等の整備が必要。
2	全体的に築年数が経過した建物が多い感じ。 管理棟と実習棟との距離が長い実習室が見られる。
3	全体として、きれいに整理整頓されていると思った。 実習生の割には広々とゆったりしている。 車が満杯だったので、駐車場問題は悩ましいと思う。
4	全体的に必要な教室や設備、寮などが揃っており良かったが、建物が古い印象を受けた。 家が遠い訓練生も寮があることで通いやすく良いと感じた。 寮は個室の方が入寮者には良いかもしれない。 渡り廊下の整備が必要。

## 2 今後の専門校の施設整備（校全体）に向けたアドバイス等

### （1）自動車車体整備科部会

1	スポットクーラー等の設置（熱中症対策）。 防音対策（近隣住民への配慮）。
2	立地上、仕方ないのかも知れませんが、道路からの進入路をわかり易く、ゲートの改善も課題の一つでは。
3	民家が隣接しているので目隠しや防音壁の設置。
4	今年、新入生に女性の方が入られたそうですが、これからは女性に配慮したトイレ、更衣室等の数を増やしたりして、受け入れる体制を更に整備する必要があるのではないかと感じました。
5	整備士の定着率を考えると、今後育成する環境を整える必要があるかと思います。高度な技術を習得するためには、最新の設備を整え、働きやすい（勉強しやすい）職場環境が必要かと思います。 あくまでも、“予算内での投資です”を考えて、が前提です。

### （2）電気配管システム科部会

1	教室には空調機が必要ではないですか。 黒板も電子黒板で検討されたいと思います。
2	施設の更新では意匠等も考えて頂ければと思います。
3	今回の改修に当たり、省エネ等を含めより良い環境で学習できるよう再整備されると良いと思います。

### （3）総合建築科部会

1	自動車実習棟は近接し、まとまっているが、電気配管と建築は分離、遠隔となっている。 渡り廊下の、上履き通路の必要生が疑問である。午前中は講義、午後は実習と決まっていれば、午後靴で実習等に向かい、作業靴に履き替えれば良いと思われる。
2	敷地が限られているので、実習棟についても平屋建て以外の選択も考慮する。 外部アプローチ、内部アプローチを含めて全体の配置計画が大切。 寄宿舍について、現代社会に合わせた計画が良い。
3	8%の増床のために建て替えの答えは性急だ。長い廊下の削減。寮生の減少。部屋の共用。一部の建物の増築等があると思う。構想に1年以上かけるべきだ。設計・工事より一番大事なのだ。 これからの世の中は縮充の時代と言われている。縮小する部分をまず探す。縮小して質を上げる。 ここは地価が高い。この土地を売って広い場所への移転は考えるべきではない。学校の南は調整区域で雨水調整の役目を果たしていた。高値で売れば、住宅がたくさん建つ。道路交通、上下水道、電気、小学校増床など、別の県費、市費が多く必要となるので総合的には解決にならない。
4	今後女性の訓練生が増えるのであれば、トイレや更衣室の整備が必要。

### 3 各科の実習棟について

#### (1) 自動車車体整備科

##### ① 実習棟についての印象・感想

1	作業には時間効率も必要なので、作業時間目標を確認しながら、作業できる環境があればと考えます。
2	訪問したのは4月で、1年で最もさわやかな時期でしたが、真夏や真冬にエアコンがない環境での実習は、少し気の毒な気がします。昔と違って、地球温暖化が進む現在、幼い頃からエアコンのある生活に慣れている若者にとっては、必需品ではないかと思われます。

##### ② 今後の自動車車体整備科実習棟の整備に向けたアドバイス等

###### (観点) 実習棟内のレイアウト、移動動線などについて

1	整備車間の幅が狭く、もっと作業し易く広げた方が良いでしょう。 教室の照明が暗すぎる。
2	全体的に、余裕のあるレイアウトであるという印象を受けました。
3	棟内の老朽化が進んでいるため、現状の動線は厳しいようです。 ムリ・むだ・ムラのない動線を考慮する必要があるのではないのでしょうか。

###### (観点) 実習棟に付随する倉庫などについて

1	第1実習棟には、換気設備の増強が必要では。 第1実習棟には、防音壁の内側に、更に発砲スチロール板が必要では。
2	倉庫の中までは見ませんでしたが、特に気づいた点はありませんでした。
3	老朽化が進んでいるため、天井、壁など、作業環境に悪いのではないのでしょうか。

###### (観点) 訓練設備・訓練機材(実習材料含む。)について

1	軽整備場と重整備場を区別。
2	修正機はジグ式が主流であり、予算次第では導入が必要では。 照明が水銀灯で暗いので、早期にLEDへ変更すべき。 古い什器・設備は減価償却の絡みもあるが、処分するとスペース良へ。
3	実習車として、最近ではほとんど見かけないような古い車を使用されているのが気になりました。 予算の都合もあり、一度に全部を買い換えるのは無理でしょうが、毎年、少しずつでも更新できれば良いですね。
4	最近の車を考えると、高度な設備投資が必要と思われませんが、現在の設備も含め利用できるものを精査して使い分けたい。

###### (観点) その他

1	整備士とは、「お客様の車が直って当たり前」の世界で、その中で、「お客様へ感動を与えるためにはどうすれば良いか」という事を考えられるような指導も盛り込んでみたら良いと思う。
2	訓練生の意見(改善項目)をアンケートでとるのも必要では。
3	実習棟内が暗いのでLED照明にする。 実習棟にスポットクーラー等を設置し快適な作業環境にする。
4	立地上、仕方がないことですが、すぐ近くに民家が隣接しており、少し窮屈な印象を受けました。騒音等で苦情が来なければ良いですが。

## (2) 電気配管システム科

### ① 実習棟についての印象・感想

1	天井の高さが低く、暗く感じました。
2	教科、教育の動線等を今後考慮した施設に考えて頂きたい。 設備機材の再考、更新等も検討していただければと思います。
3	2年の実習棟については、建屋の間にあり日当たりが悪そうで照明も暗い印象を持った。 1年の実習棟については、説明があったとおり天井が低く改修の必要を感じました。

### ② 今後の電気配管システム科実習棟の整備に向けたアドバイス等

#### (観点) 実習棟内のレイアウト、移動動線などについて

1	教室と実習棟は出来るだけ近い位置が良いのでは。 例えば、1Fが実習室で2Fが教室とか。
2	資機材の搬出搬入等の動線を考えて頂ければと思います。
3	実習棟間の移動は、シンプルに移動できるよう整備されたらと思いました。

#### (観点) 実習棟に付随する倉庫などについて

1	実習棟の近くにある方が準備の時間等にロスタイムが少ないと考えます。
2	倉庫もできるだけ大きく取り、資材・機器の出し入れに便宜を図られたら良いと思いました。

#### (観点) 訓練設備・訓練機材(実習材料含む。)について

1	資機材等は各メーカー等において操作性の向上や軽量化省エネ等が開発市場に発表されているので作業現場において実践できる機材等の利用を考えて頂けるとありがたいです。
2	最新の機器等を購入され、現実的な学習が実施できる環境を整えていただけたらと思いました。

## (3) 総合建築科

### ① 実習棟についての印象・感想

1	1年生と2年生の実習等の位置。1年生と2年生の合同の実習はないものと思われるが、二つの実習棟が何故このように遠隔しているのか不明。隣接している方が、指導・管理の点でも有効と思われる。
2	時代的に冷暖房設置の検討も必要かな。 実習棟内での内部動線が良くない部分がある。 各個人の作業スペースは適正か。(高さも含めて) 1年と2年の実習棟が離れている。
3	耐用年数は資産の減価償却年数である。木造の住宅は22年だ。耐用年数を理由に建て替え要求すれば、県下の建物は県庁もふくめほとんど全部となる。修繕すれば耐久性は伸びる。耐久性は、税務評価年数で決めるものではない。構造材、外壁材、屋根材、設備の評価で決める。1年実習棟鉄骨造は、鉄骨の錆に劣化は見られないし、屋根材は交換の必要性はあると思う。プレハブなので、修繕繰り返しの費用で新築か修繕は決めるのがよく、新築かもしれない。2年実習棟は15年生徒にはちょうど良い広さだ。屋根材のやり替え、天井材の交換時に断熱材を入れるなどを修繕は必要と思った。

	<p>実習棟内だけでなく近くの地藏堂の改修・建て替えをしたらどうだろうか。球磨工業はミニ社殿の修理の注文が殺到していると聞く。</p> <p>耐用年数を公共建築の建て替え理由にするのは県民の理解は得られない。納税者のほとんどは木造の住宅の耐用年数 22 年経過に住んでいる。</p>
4	<p>研ぎ場がポリテクよりも広くて良い。</p> <p>同じ実習場に木工機械や材料が置いてあり、狭い印象。</p> <p>1 年生と 2 年生の実習棟が遠い。近くに設置し、倉庫や資材置き場を共有した方が便利。</p>

## ② 今後の総合建築科実習棟の整備に向けたアドバイス等

### (観点) 実習棟内のレイアウト、移動動線などについて

1	<p>入り口付近の大型工作機を通して、作業スペースに進むのは危険である。</p> <p>1 年実習棟は天井が低く、夏期の暑さ対策が必須であると思われる。</p> <p>定員充足した場合には各自の作業スペースの確保ができるのか不安である。</p>
2	<p>管理棟からの距離が近く、1 年 2 年が離れてない実習棟。</p> <p>作業スペースと機械の配置を検討。</p>
3	<p>渡り廊下が多いので、移動時間がかかり過ぎの不満はあるかもしれないが、長い廊下は、生徒の増減や時代の流れによる指導内容の変化で、実習棟の交換などのやりやすさの利点がある。大学は道路を隔てる場合などがあり、もっと不便である。利点を生かすのが良い。</p> <p>動線の効率は、生産性を要求する工場等に適している。学校等は用途変化に合わせているので、動線は結構長い例が多い。特別室が敷地外の例もある。</p> <p>どうしても手狭だったら、近隣の敷地を購入して、不足分だけを新築する方法もあると思う。</p>
4	<p>木工機械の材料が置いてあるため、通路の幅が狭く、作業をしている訓練生同士の距離が近い。安全面からも倉庫に機材を移動し、実習場を広く使用した方が良い。</p>

### (観点) 実習棟に付随する倉庫などについて

1	<p>色んな材料や機材を収納するなら、車の搬入が可能な場所が良い。</p>
2	<p>材料等が少ないように思えた。また作業後のゴミが極端に少ない。建築材料は雨係りする場所においてもよい材料が多い。軒下活用には、スペースに余裕があるようだ。</p>
3	<p>倉庫、資材置き場が必要。</p>

### (観点) 訓練設備・訓練機材（実習材料含む。）について

1	<p>メンテナンス等考慮して、車の搬入が可能な場所が良い。</p>
2	<p>訓練材料が少ないのは、たまたまか、この日だけ片付けたのか。建物改善より、教材にお金をかけるべきと思った。</p> <p>手刻みの場合は 4 寸で教育すべき。もう少し長い材で加工させて、継ぎ手に乗って強度の競い合いも可能である。</p> <p>エアコンは不要である。卒業生に聞いたら夏は良いが冬寒いと言っていた。断熱改修をしたらと思う。</p>
3	<p>訓練機材については、ポリテクよりも充実している。(パネルソーが無いくらい。)</p>

### (観点) その他

1	<p>木造の実習をされていますので、2 年の実習棟は良い教材ではないか。</p>
---	--